

新潟市 令和 8 年度 予算案のポイント

新潟の明るい未来を切りひらく！



1. 当初予算の姿
2. 基本方針
3. 最優先課題
4. 3つの力点

1. 当初予算の姿

(1) 予算規模

		前年度比	令和7年度
一般会計	4,425億円	(3.7%増)	4,267億円
特別会計	2,559億円	(1.5%増)	2,522億円
企業会計	1,511億円	(6.0%増)	1,426億円

(2) 市債残高 (臨時財政対策債除く)

令和8年度末見込 3,798億円 前年度比74億円増

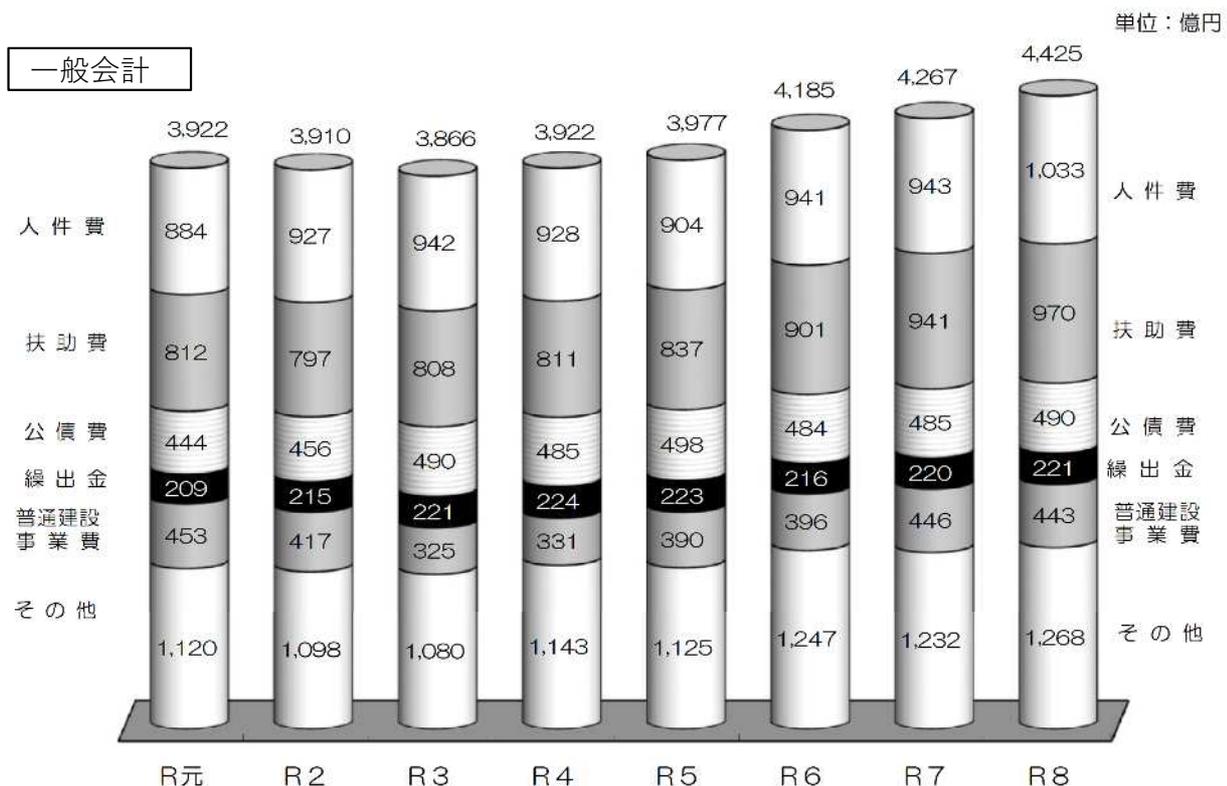
(3) 基金残高 (主要3基金)

9年連続の収支均衡予算

令和6年度末実績	令和7年度末見込	令和8年度末見込
65.8億円	92.7億円	92.7億円

(4) 歳出規模の推移

一般会計当初予算の規模は、4年連続で過去最大
令和7年度補正予算と一体的に執行することで最優先の課題に対応



2. 基本方針

能登半島地震が発生し2年が経過したが、道路などの公共インフラの復旧をはじめ被災者の生活や住宅の再建はいまだ途上にある。インフラの復旧を加速させるとともに被災者に寄り添った支援を行う。街区単位の液状化対策は対象地域の方々の理解が不可欠であり、引き続き丁寧な説明を行い次のステップとなる意向確認へ進めるよう取り組む。

また、長引く物価高騰で多くの市民・事業者が厳しい状況に置かれている。市民生活を下支えするほか、事業者に対しては、賃上げ環境の整備をはじめとする安定的な事業継続を支援する。

これら「能登半島地震からの復旧・復興」と「物価高への対応」を最優先課題とし迅速に対応するため、令和7年度補正予算と令和8年度当初予算を一体予算とし、事業の早期着手と切れ目ない事業実施を図るとともに、「活力あふれるまち」「若者や子育て世代に選ばれるまち」「持続可能なまち」の3つを力点とした予算編成を行った。

1 「活力あふれるまち」

全国的に本格的な人口減少社会を迎える中、「活力あふれるまち」として都市の活力を生み出し持続的に発展していくためには、地域の外から消費や投資を呼び込むことで地域経済を豊かにする必要がある。

拠点性の向上に取り組みながら、**地域経済の活力を創出**するとともに、大規模国際会議などを追い風に観光需要を取り込む体制を整え、**交流人口の拡大**を新潟経済の活性化につなげていく。

2 「若者や子育て世代に選ばれるまち」

東京一極集中による若者の転出超過や、出生数の減少による人口減少の流れが続いている。こうした中で、若者や女性が夢や希望を持てる「若者や子育て世代に選ばれるまち」となるためには、人々を惹きつける都市としての魅力を高めるほか、希望する人が安心して子どもを産み育てられる環境を整える必要がある。

そのために、**若者や女性が挑戦できる環境づくり**を進め、**結婚から子育てまでの切れ目ない支援**を一層強化するとともに、社会全体で**将来を担う子どもたちの育成**に取り組んでいく。

3 「持続可能なまち」

将来にわたって心豊かに暮らせる「持続可能なまち」となるためには、まず**安心・安全なまちづくり**の土台をより強固なものとする必要がある。

また、市民生活に密接する医療や介護、保育をはじめ、幅広い分野の労働力不足に対応するため、官民連携で**人材の確保と生産性向上**に取り組む。

さらに、市民の生活にとって重要な公共交通の確保に努めるなど、市民とともに**持続可能な地域づくり**を進めていく。

以上3つを力点としながら、新潟市総合計画2030の重点戦略の推進や市内8つの区が持つ特色や魅力にさらに磨きをかけることで「**田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市**」新潟市の実現に向け着実に前進するための予算案とした。

復旧・復興を着実に進めるとともに、災害に強い地域づくりを推進する

(1) 公共インフラ等の復旧

- ① 道路の復旧 53億9,200万円
- ② 下水道施設の復旧 59億8,548万円
- ③ 公共施設等の復旧
 - a. 坂井輪中学校の改築 2億9,717万円
 - b. 鳥屋野運動公園野球場の再整備 5,270万円

(2) 生活の再建支援

- ① 被災者の見守り支援や相談対応 4,800万円
- ② 液状化被害を受けた宅地等の復旧費用を支援 9億200万円

(3) 街区単位の液状化対策 7億2,000万円

事業実施に関する意向確認のためのアンケート調査を実施

試験施工を実施するとともに、集水管などの施設配置計画を作成

物価高騰の影響を受ける市民や事業者に対し、国の経済対策とあわせ、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、効果的な支援を行う

I. 生活者への支援

(1) 市民の皆さまへの支援

- ① 市民一人あたり3,000円を給付 …………… 27億5,000万円
- ② プレミアム率20%のデジタル商品券を発行 …………… 12億円

(2) 低所得者世帯への支援

- ① 住民税非課税世帯へ8,000円を給付（水道料金（基本料金2か月分相当）と灯油等購入費）…………… 7億9,100万円
- ② フードバンク等食料支援及び相談支援を行う民間団体への支援…………… 250万円

(3) 給食費の保護者負担の軽減 …………… 27億5,334万円

- ① 小学校の給食について
新たに始まる国の支援制度と併せて、交付金を活用することで、令和8年度は保護者負担を求めない。
※令和9年度以降の、国の支援基準額を超える部分の取り扱いは、保護者負担を基本に今後検討
- ② 中学校の給食について
交付金を活用し、給食費を据え置く（令和7年度に引き続き）

II. 事業者への支援

(1) 中小企業などの賃上げ環境整備

- ① 企業や商品のブランディングに係る取組への支援…………… 8,000万円
- ② デジタル化に取り組む企業へ専門家を派遣 …………… 1,000万円
- ③ LEDや太陽光発電など省エネ等設備導入への支援 …………… 1億4,000万円

(2) 医療・介護・保育施設などへの支援

- ① 障がい福祉、高齢者施設、私立保育園などの光熱費上昇分を支援
……………令和7年度補正予算で年度内に執行（6億5,357万円）
- ② 医療材料費等の高騰の影響を受ける救急指定病院などへの支援 …… 1億5,500万円

(3) 農林水産業への支援

- ① 有機質肥料活用のための機械・施設導入費、
畜産農家の飼料価格の上昇に備える基金への加入を支援 …………… 2,500万円
- ② 生産コスト低減や生産の効率化に向けたスマート農機の導入を支援 …… 1億3,000万円

人口減少に伴い、地域経済の縮小や労働力不足など様々な影響が懸念される中、「地域の外から消費や投資を呼び込む」ことが一層重要になっている。

そのために、さらなる**拠点性の向上**により本市の魅力を高めるとともに、地域資源の高付加価値化や新技術の活用により事業者の稼ぐ力を高め、**地域経済の活力を創出**する。

さらに、国際会議や大規模イベント等の開催を通じて、地域資源を活かした国内外への魅力発信や受入環境の強化により**交流人口の拡大**を図ることで、新潟の経済の活性化につなげることが必要である。



- I. 拠点性の向上
- II. 地域経済の活力創出
- III. 交流人口の拡大

I. 拠点性の向上

- ① **新潟駅万代広場の整備** R7
繰越20億5,901万円
令和8年度にペデストリアンデッキ、一般車降車場などが供用開始
令和9年春の全面供用に向け整備を推進
- ② **東大通“人中心の空間づくり”の推進** 拡充900万円
道路空間の再構築に向け、令和9年春の万代広場供用後の社会実験実施に向けた企画・検討を実施（社会実験において交通の流れや渋滞への影響を調査・検証予定）
- ③ **鳥屋野潟南部地区の道路整備** 主要9億8,215万円
都心の機能を補完する鳥屋野潟南部地区において、周辺の交通混雑緩和を目的に、都市計画道路（鳥屋野潟南部東西線）を整備
- ④ **路線バス運行の円滑化** 拡充 1,300万円
市民の移動手段確保に向けた調査検討などのほか、南北市街地の一体化に向け、新たに駅南方面へ連節バス運行の社会実験を実施
- ⑤ **西堀地下施設の利活用検討** R7
繰越2,840万円
(西堀ローサ・地下駐車場)
有識者会議や庁内プロジェクトチームにより利活用の方向性を検討

⑥ アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編 新規

アリーナの新設、市陸上競技場の改修（または建替）について、…………… 2,000万円
P F I手法を前提に、本格的な検討に着手



白山エリア

II. 地域経済の活力創出

① ブランド力向上・魅力発信サポート R7 繰越 …………… 8,000万円

市内中小企業者に対し、自社の企業・商品・サービスイメージをブランディングし
発信する広報・宣伝等の取組を支援

② 「にいがたふうど」で繋ぐ地域経済循環の創出 新規 …… 2,797万円

風土や歴史から食の魅力伝える産地ストーリー「にいがたふうど」で海外市場へ
訴求し、観光資源としても活用することで、地域内での食関連消費拡大に繋げる

③ ペロブスカイト太陽電池の社会実装推進 新規 …………… 800万円

次世代型太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の実証支援や普及啓発等を実施

④ にいがた2km「おいしさDX」産学官共創プロジェクト 主要

にいがた2kmの強みを活用し、産学官連携で …………… 1億3,900万円
食関連産業の高付加価値化や食による地域の魅力向上、
専門人材の育成・輩出を目指す

⑤ 食の1.5次加工に関する調査分析 新規 …………… 450万円

食を活かした経済循環の構築に向け、農産物の規格外品等の
利活用に着目し、課題・ニーズ調査等を実施

Ⅲ. 交流人口の拡大

(1) 国際会議・全国大会等の開催関連

- ① 第5回 世界湿地都市ネットワーク市長会議等 ● 新規 …………… 6,220万円
- ② 2026 JCI ASPAC新潟大会への支援 ● 新規 …………… 1,800万円
- ③ 第54回 全国消防救助技術大会 ● 新規 …………… 1,139万円
- ④ 賑わい創出・魅力発信 ● 新規 …………… 3,000万円
- ⑤ クルーズ船の寄港 主要 …………… 2,730万円

(2) 訪問客の受入態勢整備

- ① 外国人向け案内表示の整備 主要 …………… 1,670万円
万代・古町エリアに矢羽根型の案内サインを整備
- ② 観光客おもてなし態勢の推進 主要 …………… 800万円
飲食店の多言語メニュー整備やキャッシュレス決済導入などの支援

(3) 誘客促進

- ① 「食」を活かした誘客の推進 ● 拡充 …………… 2,600万円
新潟ラーメンや日本酒をはじめとしたプロモーション、観光コンテンツ化の支援
- ② 外国人観光客の誘客促進 ● 拡充 …………… 3,400万円
海外向けプロモーションや旅行商品造成を促進
- ③ 佐渡と連携した誘客の推進 ● 拡充 …………… 1,800万円
国内外で人気のあるアニメキャラクター等を起用した佐渡エリアとの周遊イベントを実施
- ④ にしかん・やひこ 遊・誘・湯めぐりプロジェクト ● 新規 …………… 870万円
岩室温泉と弥彦温泉との連携により泉質の違いを活かした誘客キャンペーンを実施

東京一極集中の傾向に歯止めがかからず、本市は若者の県外への転出超過が続いている。

こうした状況の中、若い世代が主体的にまちづくりにかかわる機会や魅力的な雇用の創出などにより、**若者や女性が挑戦できる環境づくり**を推進する。

本市においても出生数の減少が続き、合計特殊出生率も低下傾向にある中、希望する人が安心して子どもを産み育てられるよう、**結婚から子育てまでの切れ目ない支援**に取り組んでいく。

また、**将来を担う子どもたちの健全な育成**に向け、安心して過ごせる居場所の充実や、中学生の地域クラブ活動への支援などに取り組む。



- I. 若者や女性が挑戦できる環境づくり
- II. 結婚から子育てまでの切れ目ない支援
- III. 将来を担う子どもたちの育成

I. 若者や女性が挑戦できる環境づくり

- ① リノベーションまちづくりの推進 拡充 …………… 2,000万円

地域の既存資源を活かしたまちづくりを進めるため、民間プレイヤーと共に今後の戦略を構築

- ② 女性が活躍できる環境づくり

- a. 女性に魅力ある職場づくりの支援 新規 …………… 100万円

中小企業等を対象に、専門家や学生の生の声を聴く機会を創出

- b. 女性の就農環境の改善 新規 …………… 500万円

農業現場における女性が働きやすい環境整備のため、トイレ設置費用などを補助

- ③ 市内就労の促進 拡充 …………… 400万円

市内大学との連携を強化し、学生の参画を得ながら、学生向けに新潟で暮らす魅力・働く魅力を伝えるセミナー等を新たに実施

II. 結婚から子育てまでの切れ目ない支援

① 不妊治療費の助成 主要 7,549万円

こどもを持ちたいという夫婦の経済的負担軽減のため、
不妊治療（一般不妊治療・生殖補助医療・先進医療）費用の一部を助成

② 多様な保育・子育て支援サービスの充実 拡充 ... 7億1,212万円

病児・病後児保育において、新たに空き状況の見える化など利便性向上のため
予約システムを導入するほか、隣接自治体と連携し利用できる施設を拡充する
など、多様なサービスを実施

③ 5歳児健康診査 新規 338万円

こどもの特性を早期に把握し、関係機関が一体となって特性に合わせた適切な
支援を行うため、言語の理解能力や社会性が高まる5歳児への健診を、全市展開
に向けてモデル実施

III. 将来を担うこどもたちの育成

① こどもの居場所づくり —出張児童館・児童館

a. 出張児童館の拡充 拡充 2,214万円

児童館を拠点としながら、各区に出張児童館の取組を広げていく

新規実施：江南区、西蒲区

拡充実施：秋葉区、南区

b. 児童館の新規設置 R7 繰越 1億800万円

秋葉区のこどもの居場所の拠点として、既存の公共施設を有効活用し、
同区において初の児童館を設置

開設場所 新津健康センター

開設予定 令和8年秋ごろ

② 子どもの学習・生活支援 拡充 3,535万円

生活保護受給世帯等の中学生等を対象とした学習会の会場を全区に拡大し、
身近なところで支援を受けられる環境を整備

③ **不登校対策** 拡充 9,231万円

クラスに入りづらい児童生徒の学校内の居場所として登校復帰を支援する
「スペシャルサポートルーム」を増設、専門的なサポートによる支援体制を強化

④ **中学生のための地域クラブ活動支援** 拡充 8,830万円

「部活動の地域展開」の本格始動に伴い、将来にわたって多様なスポーツ・
文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保・充実させるため、
子どもたちが参加しやすい環境の整備や地域クラブの設立、運営支援を拡充

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中、本市においても令和6年1月の能登半島地震発生により大きな被害を受けた。今後の災害に備え、防災・減災の強化に取り組み、**安心・安全なまちづくり**を推進する。

また、生産年齢人口の減少により様々な分野で人手不足が生じている。この状況へ対応するため、官民連携による**人材の確保**や採用力強化に取り組むとともに、ICTの活用による業務効率化や**生産性の向上**を支援する。

さらに、地域の細やかな移動に対するニーズに対応するなど、**持続可能な地域づくり**の実現を目指す。



- I. 安心・安全なまちづくり
- II. 人材の確保と生産性向上
- III. 持続可能な地域づくり

I. 安心・安全なまちづくり

① 下水道施設の機能確保 拡充 …………… 133億7,290万円

令和8年1月に発生した東区の道路陥没事故を受け、陥没箇所の本復旧工事を進めるとともに、下水道管路における点検・調査の強化を踏まえた計画的な改築更新を行い、老朽化が進む下水道施設の予防保全的な維持管理を着実に実施

② 感震ブレーカー設置促進 新規 …………… 2,000万円

大規模地震による電気火災を防止・軽減するため、地震を感知すると自動的にブレーカーを落とす感震ブレーカーについて、高齢者や障がい者への設置費用を助成

③ 災害リスク読み上げツールの導入 新規 …………… 200万円

視覚障がいのある方や外国人等へ向け、スマートフォンアプリで周辺の災害リスク等を読み上げる多言語対応のシステムを導入

④ AI防犯カメラの設置 **新規** 900万円

新潟駅周辺繁華街における客引きを防止し、安心・安全な地域づくりを推進するため、AI防犯カメラを設置

⑤ 循環器救急医療体制の強化 **新規** 2,000万円

新潟大学に設置される「寄附講座」において、循環器疾患の医療連携の基盤整備に係る研究を行うことで、持続可能な体制づくりを推進

II. 人材の確保と生産性向上

① 新規採用活動への支援 **主要** 1,600万円

自社の採用ホームページ等を有効活用し魅力を発信する企業のほか、リクルーターの養成やインターンシッププログラムの構築に取り組む企業を支援

② デジタル技術を活用した地域就労モデルの構築 **主要** ... 3,220万円

本市公式の単日短時間就労マッチングサービスを運営するとともに、在宅テレワーカーの育成・活用を支援

③ 農業の担い手確保体制の整備 **拡充** 2,980万円

新規就農者への伴走型支援や、新たに企業の農業参入を支援するほか、新規就農者を確保するため相談体制の整備や情報発信を強化

④ 保育士の魅力発信 **新規** 200万円

市内保育施設への就業促進に向けて本市の保育環境の強み等を紹介する動画を制作し、養成校学生や中高生等に広く発信

⑤ 建設業の担い手確保支援 **新規** 50万円

持続可能な建設業の実現に向け、事業者団体との勉強会等により担い手確保に向けた体制づくりを推進

⑥ 専門家派遣による業務効率化支援 **R7 繰越** 1,000万円

市内中小企業者の業務効率化・生産性向上を図るため、民間専門家を派遣し、デジタル化に向けた取組を支援

⑦ 介護テクノロジーの導入支援 **R7 繰越** 3,000万円

介護事業所の生産性向上に向け、ICT機器など介護テクノロジーの導入費用を補助

Ⅲ. 持続可能な地域づくり

① 生活交通の維持・効率化に向けて

- a. 区バス・住民バス等の運行 **拡充** …………… 2億2,973万円
区バス等の運行や、住民バスの新たな立ち上げに向けた支援（中央区）
- b. 生活交通のサポート **新規** …………… 900万円
住民バス制度の見直しや、新たなサポート制度の創出に向けた地域の細やかな移動ニーズの把握および支援メニューの検討を実施
- c. 生活交通の効率化 **新規** …………… 4,060万円
区バス等を効率化し、新たに予約型乗合バスの社会実験を実施（南区、西蒲区）

② 路線バスネットワークの維持

- a. 運転士不足への対策 **主要** …………… 1,200万円
- b. バス無料デーや中高校生世代へのポイント付与などバス利用の促進 **R7 繰越** …………… 1億1,000万円

③ 公共施設の再編

- a. 公共施設の再編に向けた地域との対話の加速 **主要** …………… 3,400万円
- b. 越後石山駅前新たな交流拠点施設等の整備に向けた準備 **新規** …………… 3,500万円
- c. 大江山農村環境改善センターの大規模改修に向けた実施設計 **拡充** …………… 2,000万円

凡例

新規

拡充

令和8年度当初予算における新規・拡充の取組

主要

令和8年度当初予算における主な取組（新規・拡充以外）

R7
繰越

令和7年度補正予算等を令和8年度に繰り越して実施する取組



田園の恵みを感じながら
心豊かに暮らせる
日本海拠点都市

令和8年2月作成
新潟市 政策企画部 政策調整課
〒951-8550
新潟市中央区学校町通一番町602番地1
電話 025-226-2066
メール seicho@city.niigata.lg.jp